

1996

千葉県建築文化賞

第3回表彰作品集

千葉県建築文化賞について



千葉県知事 沼田 武

第3回千葉県建築文化賞に、多くの皆様方から御応募をいただきありがとうございました。

千葉県では、県民福祉の向上と県土の均衡ある発展を図ることを目標に、平成8年度を初年度とする「ちば新時代5か年計画」を策定し、21世紀に向けた新しい千葉県づくりに積極的に取り組んでいます。

本計画においては、千葉県の重要な政策課題として、まちづくりにおける地域文化の創造や「千葉県福祉のまちづくり条例」などに基づく生活福祉空間づくりなどを掲げておりますが、これらに対する県民のニーズを十分に踏まえた施策の推進の重要性がますます大きくなってきております。

千葉県建築文化賞は、こうした施策の一環として建築文化・居住環境に対する県民の認識を深め、うるおいとやすらぎに満ちた快適なまちづくりを推進することを目的に平成6年度に創設したもので、景観に配慮した建築物と高齢者、障害者等に配慮した建築物の表彰を実施しております。

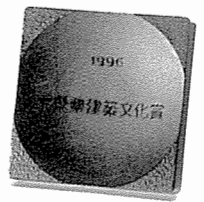
第3回目の今年度は広く県内各地から83件のご応募をいただき、その内容も規模の大きな公共施設から江戸時代の武家屋敷の復元までバラエティに富んでいます。

これらの応募作品の中から、選考委員の方々による現地審査を含めた厳正な選考過程を経て、建築文化賞5点、建築文化奨励賞4点を決定いたしました。これらの建築物は、いずれも景観や高齢者、障害者等への配慮がなされた優れた建築物であるとの評価を受けた作品です。

今後、建築文化賞が21世紀を展望するまちづくりの先導役となり、魅力ある建築物が県内に数多く建築されるような生活環境づくりを推進してまいりたいと考えておりますので、県民の皆様方におかれましても、より一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに選考委員をはじめとする関係者や応募された方々、後援・協賛団体各位の御協力に感謝を申し上げます。ごあいさついたします。

平成9年1月



総評・選考経過

選考委員長 守屋秀夫

第3回目となる建築文化賞に対して今年も多くの方々からご推薦をいただき、応募総数は83件（建築数では77点）となり、前回は上回る数となった。今回も、応募建築物の所在地は全県下に広がり、一般県民からの推薦も多かった。

審査は、応募図書による書類審査で22点の建築物を選び、これらをすべて現地訪問して検討する、2段階の方式をとった。

今回も景観に配慮した建築物と高齢者・障害者等に配慮した建築物というテーマのもとに募集を行ったが、これらの点ばかりでなく、建築文化の発展を担う優れた建築物であることを選考の基本とした。とはいっても、何をもって優れた建築物とするかは審査員の間でも共通の考えがあるわけではない。強いていえば、使う人の立場で考えられており、外から見る人にも好ましい印象を与え、将来の発展に向かって積極的に取り組んでいる建築物ということになるだろう。少なくとも、巨大さ、豪華さ、あるいは奇抜さなどを評価の要素には加えなかった。

この結果、当初予定した表彰点数の部門別配分にこだわらない方が適当と判断し、多少の点数の移動と、推薦者の推薦理由とは異なった部門での表彰を決定したものがあり建築文化賞として5点を選考した。

また、今回は、入賞に準ずる内容をもち、表彰すべき何らかの特色をもつと認めた建築物を奨励賞として表彰することにしたが、4点の建築物をこの対象に選んだ。

景観に配慮した建築物

景観一般建築物の部門は今回も応募点数がもっとも多かったが、大規模の建築物だけでなく、県民の身近にあるちょっとした建築物も多数推薦を受けていた。小さな作品でも丁寧にデザインされていることと、みんなの関心がこのようなものに向けられてきた証として好ましいことと考える。

その中でも、「千葉県立幕張総合高等学校」は新しい学習方法を試みる高校という条件に対し積極的に取り組んだ設計であり、「印西市中央駅北コミュニティセンター」は付近の住民から活発に利用されており、親しみやすさが感じられた。「印西市立原小学校」は、公立の学校には珍しく、外壁にタイルを多用するなど比較的リッチな表情を見せているが、贅沢さを誇るものではなく、公共建築物の寿命

を長くさせるための手段として考慮された点は評価できる。内部にも特徴づける何かがあった。

「千葉市花の美術館」、「島田総合病院看護婦宿舎」は、それぞれ優れたデザインの建物で、とくに内部の構成にみるべきものがあるが、外部に対してやや閉鎖的である点が惜まれる。例えば看護婦宿舎の場合、内部に設けたパティオ（中庭）が心地よい空間をつくり、味気なくなりがちな住戸に至るまでの空間を楽しいものになっているが、昼間だけでも前を通る人にも見せてあげられないものだろうか。

景観住宅の部門では、「千倉・海の住宅」が長い海岸線をもつ千葉県にあって、海辺に建つ建物として景観の上で好例の一つといえよう。

幕張の新住宅、「パティオス」の新しい2街区が応募されたが、前回6街区を表彰しているの、今回のものもこれに準ずるではあるが、賞を見送った。「船橋の家」は、景観部門で応募されたが、景観としての目新しさよりも、老いた母親に対する心遣いを評価して、高齢者、障害者等の部門として表彰することとした。

高齢者、障害者等に配慮した建築物

この部門の応募・推薦はまだ比較的数量が少ない。とくに一般建築物の部では、老人施設や福祉施設が半数以上を占め、普通の公共的建築物が少ないのは残念である。しかも、推薦のあった建物でも、行ってみると、単に段差をなくし、斜路や手摺りをつけるなどの、マニュアルどおりの設計をただけで、実際、障害者がどのように手摺りに体重をかけるのか、施設にはいった人たちがどのような気持ちで毎日をすごすのかといった配慮はまだ不足しているものが多いように見受けられた。このようなことから、一般建築物の部では残念ながら建築文化賞に該当するものはなしとした。

住宅の部では、「西川邸」が、経済的に恵まれた条件にあるものの、高齢者に対する配慮が基本から行き届いている点で評価された。

「本田邸」は建売り住宅を設計変更したもので、その制約の枠内の計画であるための物足りなさが感じられた。「芝山の家」は、細部での心遣いがさらに望まれる。



建築文化賞

所在地：千葉市美浜区若葉3-1-1

施主：千葉県

設計：(株)榎本建築設計事務所

施工：戸田・鉄建・富士工・石川特定建設工事共同企業体

奥村・新日本・式田特定建設工事共同企業体

松栄・杉田特定建設工事共同企業体

景観に配慮した一般建築物

千葉県立幕張総合高等学校



撮影：栗原宏光



撮影：栗原宏光

幕張総合高校は、平成8年4月、幕張地区の3つの高校を統合して開校した。この高校の特色は、生徒の個性をできるだけ伸ばすため、多くの科目の中から自由に受講科目を選択できる総合選択制を採用している点にある。生徒数2,200人、県下有数の大規模校でもある。

幕張新都心の東部、文教地区の一面を占めるキャンパスは、斬新な教育理念に応え、多彩な機能を意欲的なデザインにまとめている点、また街並み景観の形成に貢献している点が評価された。

建物群は、管理・学習交流棟と体育館、教室棟、芸術棟の3つのグループで構成され、それらが三角形の配置軸に沿って中央の広場を囲んでいる。個々の建物は、逆シリンダー形の吊り屋根をもつ体育館、7層吹き抜けのアトリウムをもつ教室棟など、機能に応じた多様な形態をとっている。一方、配置軸はガラス張りの廊下によって視覚化され、多様な建物群にまとまりを与えるとともに、3階レベルで施設全体を結んでいる。

敷地の周囲には門や塀がなく、管理・学習交流棟と芸術棟を結ぶブリッジが校門の役目を果たしている。街路からは広場を見通すことができ、大きなガラス面

や4色のポイントカラーを効果的に用いた建物群と、休憩時間にガラス張りの廊下を行き交う生徒の姿が、街並みに生き生きした彩りを添えている。街にむかって開かれた好感のもてる景観である。

難を言えば、アトリウムに浮かぶコンピュータドームなど、ところどころに遊園地的な仕掛けの過剰が目につく。複合的な機能の要求にそれぞれ固有の形態を与えるデザインは、必ずしもすっきり取まっではない。しかし、これは実験校ゆえの試行錯誤と見るべきであろう。ステレオタイプ化された学校像を脱却し、個性が育つ教育環境の可能性を感じさせる建築である。

(北原理雄)



所在地：印西市木刈4-3

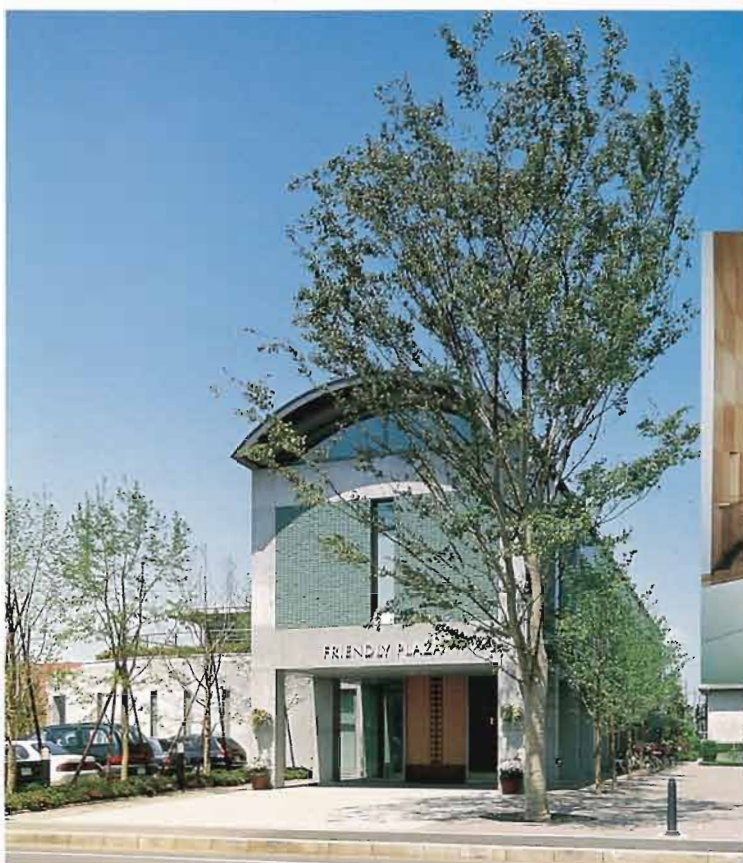
施主：印西市

設計：(株)日建設計

施工：住友建設(株)

景観に配慮した一般建築物

印西市中央駅北コミュニティセンター



北地区コミュニティーセンターは小規模だが洗練されたデザインとバランス感覚の優れた建築であり、最高高さを10m以下に押さえ3段階の高さに分節化することによって近隣への圧迫感を解消し、地域の景観形成に意欲的に取り組んだ極めて完成度の高い作品といえよう。

敷地の二方にある緑道の環境への配慮や建物周囲及び屋上への積極的な緑化によって安らぎのある落ち着いた雰囲気を醸しだし、周辺住宅へのプライバシーの確保にも役立っている。

吹き抜けのあるサロンでは子供たちが自由に読書やゲームに興じ、シルバーコーナーではお年寄りが静かに音楽を楽しむ姿が見られるなど、地域の老若男女がこのように嬉々として利用している光景はこの種の公共施設では大変めずらしい。これは、計画の段階で住民有志から提出された「建設に関する答申書」に基づいて、自らのコミュニティ活動の拠点は自分たちの手で作ってこうという熱い思いが見事に結晶した成果といえよう。

L字型プランの中心部にサークル状の界壁を相関させて、そこにパブリックスペースを集約し、内外空間を一体化した開放的な空間構成は心憎い。外観もスリットのあるコンクリート打放しの曲面とヴォールト[※]屋根とが呼応して柔らかみのある親しみやすい表情で、全体の色彩計画も素晴らしい。

居住性の向上や省エネ化にも配慮され、各室とも十分な日照と自然通風を取り入れるとともに、主要室は床吹き出し空調の採用で快適な室内気候が確保されている。

難点をあげれば、階段段板の形状や大型サッシの重量等、ややデザイン優先のきらいが気になった。

自主運営、自主管理を基本とするこの種の施設だけに、質の高さ、なじみ易さ、メンテナンスフリー、ランニングコスト軽減等、建築ストック時代に則した性能アップとロングライフ化に真摯に取り組んだ設計者の努力と見識を高く評価したい。

(明智克夫)

※ ヴォールト…アーチをもととした曲面天井



景観に配慮した住宅

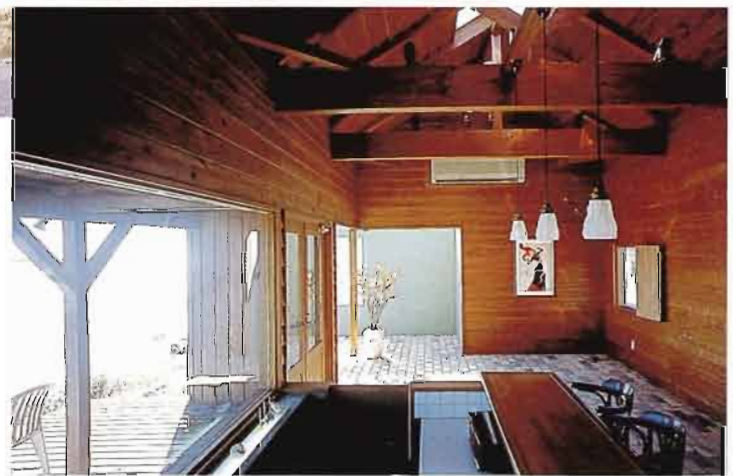
千倉・海の住宅

所在地：千倉町瀬戸

施主：鈴木 茂

設計：(有)黒木実建築研究室

施工：加藤工務店 加藤 清



海沿いに走る国道と岩肌の多い海岸に挟まれた敷地に建つ木造の住宅で、南北に細長い敷地を有効に利用して配置されている。

外壁に杉板のたて貼りをを用い、切妻屋根として気負うところなくシンプルにまとめた外観は、海辺に建つ住宅としてさりげない景観をつくっている。国道からの海の眺望をブロックしているのではないかと、塀にスリットをあけて海をかいま見せたらもっとよかった、との意見もあったが、幹線道路に面しながら点景要素となっていることを意識していない建物が多い中で、比較的好感のもてる形をしているということで賞に選ばれた。

出入口を中心に北側に住居部分を配し、これと一線を画して南側に配された平屋のサロンの存在が、単なる住宅ではなく、友人との交流の場も作ろうとした建主のライフスタイルを表現している。沓のままレンガ床のサロンに入ると、大きな窓の前のカウンターの内立つ主人と、窓越しに見える白く砕ける荒波が出迎えてくれる。気の合った同士の賑やかなパーティが真っ盛り。そんなドラマを感じさせる。どの居室からも

海の眺めが満喫できるが、とくにサロンの開口部は、海が飛び込んでくる迫力を感じさせた。この部屋では木造の構造材を単純な小屋組で表わし、屋根の明かり取りとともに大きな空間を演出している。

一方の国道側は開口部を小さくし、道路と居室の間にトイレや押入、ユーティリティ(家事室)を設けて居室への騒音対策を計り、奥行きのない敷地の欠点を補っている。

道路に面してはアプローチを誘導する塀や、車庫、空調室外機やボンベ置き場を遮る壁を、板貼りの外壁と一体のデザインにして、さりりと処理している。

(島貫俊秀)



所在地：市原市菊間
施主：西川直文
設計：(株)榎本建築設計事務所
施工：新日本建設(株)

高齢者、障害者等に配慮した住宅 西川邸

選考の対象とされた住宅は、施主の母の老後を考えて、これまでの住宅に隣接して増築された部分である。増築は、高齢の母の住まいを追加するというのではなく、施主夫婦、その二人の子供、施主の母の5人家族が、そしてしばしば逗留する妻の片麻痺のある母が、うまく生活できるようにということで作られたものである。これまでの住まいの横につくられた建物は既存部分よりも広い。既存部分に夫婦が、新築部分に母と子供達の寝室があり、家族の団らんは新築部分でというように、生活の中心は増築部分の方にあり、夫婦の両方の母親がいるということで複雑になりがちな家族の関係を、団らん室を中心に置くことでうまくバランスをとったといえる。

車椅子で入って行けるようにスロープ状に設計されている新築部分の玄関を入っていくと、最初の部屋が居間、上で延べた団らん室である。この居間が実に心地よい空間を構成している。この居間は建物の中心部にあり外には開口していない。旧住宅との間にある内庭に面し、そして高い吹き抜けがつけられている。その高さは9m近い高さである。二階の開口部を開くと夏には風が吹き抜ける道となり、冷房は殆ど必要がないということであるが、閑静で、明るく、解放感があり、落ちついた居間である。この居間はこの住宅の核であり、この建物の質の高さを表しているといえる。この居間から伸びている階段と長い二階の廊下は外出をしなくなった母の運動のためということである。

広く、かつハイコストの住宅であることから、すべてに余裕を持って、高齢者が生活しやすいように配慮が行き届いている。脱衣所、風呂場は勿論のこと、トイレが4ヶ所あり、その一つは障害者仕様である。車イスの妻の母は主にここを使う。床はバリアフリーで



撮影：ABE工房

あり、床暖房である。

そして、年寄りの寝室は中庭を挟んで夫婦の寝室と向い合っており緊急の時には数歩で庭を横切って行ける所に配置されている。勝手口の出口にまで、緊急避難の時のためにということでスロープにしてあるのは十分な配慮である。妻の母は、自分の家にいるより、風呂やトイレ、歩行が自分で自由に出来るのが嬉しいらしくて娘の家に来ていることが多いという。この住宅は、ハイコストの住宅であり誰もが真似出来るわけではないが、動きやすい住宅が高齢者の自立度を高めることを示しているモデルルームともいえるべき住宅の例である。

(川上昌子)

撮影：ABE工房

1階

2階





高齢者、障害者等に配慮した住宅 船橋の家

所在地：船橋市高根台

施主：野口嘉久

設計：(有)アトリエCOSMOS

施工：(有)持井工務店

この住宅は、70代の母親、40代の息子夫婦、20代の二人の子供たちから構成されている家族の住まいとして、それぞれの独立性、家族としての一体性を大切にしようとする意図で創り上げられた。

母親の居室は、一階南側奥の静かな場所に平家で建てられた和室と、寝室として使っている洋室の2室である。和室は絵を趣味とする母親のアトリエを兼ねており、友人との歓談の場ともなる。和室の掃き出しの窓からは中庭を介して居間、食堂の様子が見え、孤立することを視覚的に防いでいる。夫婦の書斎兼寝室は2階南側の奥まった位置にあり、大学生である子供たちには2階北側にそれぞれ個室が用意されている。

家族は玄関から食堂を通して各個室に入る。これは子供たちが成長し独立性の高くなった家族が、顔を合わせる機会を多く持つことができるよう考えられた方法であろう。



仕上材には、床や壁、さらにはサッシュにも木材が豊富に使われており、暖かみのある雰囲気を出している。

住宅の中心に中庭が配置され、この中庭を囲んで居間、食堂、母親の居室、子供の個室がそれぞれの部屋の開口部を中庭に向けて配置され、家族相互が暖かく見守りあい、家族としての一体感が感じられるように配置されている。中庭は内部でも外部でもない空間、自然を内部化するという意図で作られており、家族全員で決定したという”シャラの木”が記念樹として植えられている。各部屋からの夜の柔らかな灯りは、この家族を象徴するようにシャラの木を美しく照らしていることであろう。

母親がいきいきとした生活を楽しみ、家族もその意欲的な生き方をサポートしている様子が伝わってくる。景観に配慮した建築物の部門への応募であったが、むしろ、これからの高齢社会での3世代住宅のあり方を示すものとして評価された。

(青山 靖)

7



建築文化奨励賞



所在地：流山市東深井991

施主：流山市

設計：(株)アサヒ設計事務所

施工：大木建設(株)

景観に配慮した建築物 森の図書館

建物のネーミングが物語るように、恵まれた自然環境を生かしながら周囲に調和した地域図書館である。蔵書能力155,000冊という、中央図書館に準じる貸し出し機能とレファレンスの総合サービスを提供している。さらに、この図書館の特徴として、展示室・会議室・和室といった、コミュニティ・スペースを持っていることをあげることができよう。地域文化の拠点づくりといった観点からも、開かれた図書館づくりを実践している。

住宅地側からのアプローチは、あまり手を入れすぎず自然に近い状態で林を残しつつ、北側の公園へ向けて建物内部を通り抜けできるようになっている。建物が立ちあがるのではなく、地域の交流がはかりやすいようにと配慮した点が高く評価された。自然エネルギーにたいしても、雨水の再利用といった事を積極的に展開し、広く水資源の大切さを伝えるために、ユニークな仕掛けを施していたりする。全体的に自然光を取り入れた明るい図書館で、屋外閲覧コーナーなどのゆとりのスペースも持っている。建築そのもののデザインに関しては、細部



撮影：沢本吉則

へのこだわりがもう少しほしいとの声もあったが、地域への貢献と施設運営の積極性が評価された。

(工藤和美)

8

所在地：佐倉市宮小路字鍋木小路61

施主：佐倉市

設計：田中文男

施工：(株)眞木建設

景観に配慮した建築物

佐倉武家屋敷旧但馬家住宅

晩秋の一日、築地にイヌマキの生け垣がつらなる佐倉市鍋木小路に、市の指定有形文化財として復元された武家屋敷旧但馬家を訪れる。敷地1,338.49m²、建築面積139.64m²、築後約180年、かつて中級武士の役宅であったという。転封のつづく時代のいわば官舎である。

武家屋敷は、身分制度そのままに各藩の定めがあり、造りの質素堅実さが往時の生活の姿を偲ばせるが、白

壁に南天の赤い実がゆれ、裏庭から落葉炊きの匂いがよぎる空間のゆとりに、便利さと引き替えに失った住宅事情の今昔を思わずにいられない。

昨今、全国的に歴史的文化施設の保存が熱心に進められるようになったが、ややもすると観光施設化する傾向がある。伝統は現代に生かされてこそ文化といえる。

旧但馬家は隣地の旧河原家ともども、かつての武家邸町であった鍋木小路の面影を伝承しつつ、ゆとりある街づくりの鍵となっている点が評価された。奨励賞の対象は、むしろ旧但馬家保存に意義を与えたこの小路の家並を守った住民にこそふさわしいといえよう。

生きた街づくりとは、行政と住民の時間をかけた納得のプロセスにこそ熟成されていくのではなかろうか。さらに一歩すすめて電柱を地下に埋めよう。自動車の通行に工夫はないか。街灯は慎ましくありたい。そんな意見が住民からの発言となって、この小路を現代に生きる家並デザインとして守り育ててほしい。

(野口瑠璃)





景観に配慮した建築物

船橋日大前駅

平成8年4月に開通した東葉高速鉄道の駅舎のひとつである。付近に広がる住宅地の利用者も多いが、隣接する日大理工学部はこれを機会に正門を駅前に移し、駅前広場を駅舎・正門と一体的に整備している。

昨今の駅舎が、駅ビルの開発に食われ、駅としての公的機能がないがしろにされる傾向にあるのに対し、駅本来の機能を重視しているのが、さすがしさを感じさせる。わずかに展示に使えるような多目的空間を設けているが、過度のコマーシャルイズムに陥らなければ、コミュニティから親しまれるものになるだろう。

線路とホームが地下であるのに、駅舎全体を鉄骨のフレームで覆ったような構成で、内部に柱をもたない空間を少し変わった構造の屋根でかぶせているが、この構造を素直に見せているデザインは、中を通る人を楽しませてくれる。グレーを基調にして朱をアクセントに用いた色彩も気持ちよい。

ただ、駅前広場があまりにも整然と整備されすぎ、背後に住宅地を控えているように見えないのが残念で

所在地：船橋市坪井町681-3

施主：東葉高速鉄道(株)

設計：日本大学設計グループ

日本鉄道建設公団

パシフィックコンサルタンツ(株)

施工：奥村・福田特定建設工事共同企業体



ある。駅前広場に面しては、将来多少の商店や案内看板が配置されてもよいようにしておくべきではなかったろうか。ホームの反対側の駅舎が未完であるなど、まだ整備の終わっていない部分もあるのだが、もう少し人気を感じさせる駅でありたい。

(守屋秀夫)

高齢者、障害者等に配慮した建築物

市原市勤労会館

市原市勤労会館は、勤労者の文化教養の向上および健康増進等を図ることを目的に設立された多目的公共施設で、広く一般市民にも開放されている。

建物は「市原市における福祉まちづくり推進指針」に基づき、身体障害者や高齢者を含むあらゆる人々が安全かつ快適に利用できるよう、利用者動線、廊下等の幅員、平坦性の確保などが配慮され、車いす用便所およびシャワー室の設置、要所での誘導ブロックの配

所在地：市原市五井8187-1

施主：市原市

設計：(株)横河建築設計事務所

施工：日産・進和特定建設工事共同企業体

置等も行われている。一昨年のハートビル法の制定、本年の千葉県福祉のまちづくり条例の制定等、高齢者、障害者配慮の建築空間実現への取り組みが急ピッチであるが、この建物はそこでの基準も充足している。

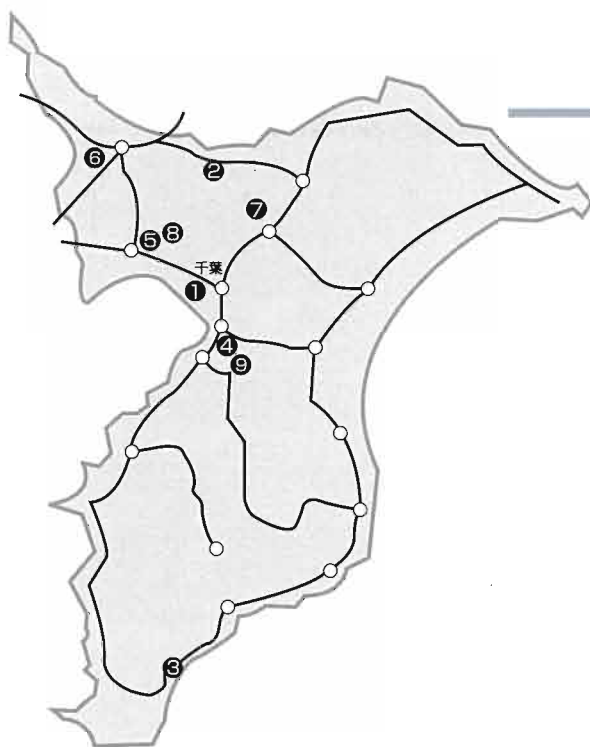
しかしながら、基準は満たしていながら、実際に利用者がどう使うかまでのきめ細かな配慮にやや欠けたために、出入口の床段差や水勾配の処理等の点でいくつかの不具合も見受けられた。今後、ただ基準を守るだけでなく、実際の利用者へのきめ細かな配慮によりバリアフリーデザインがますます発展することを期待したい。

さらに、もう一つつけ加えるなら、建物の外観デザインにも少々配慮がほしかった。この建物が立地するところは、中央図書館、保健・急病センターもある市原市民のためのシンボリックなエリアである。にもかかわらず、三つの建物が互いに威を競い合うような感があったのは残念であった。

(園田眞理子)



応募(推薦)建築物一覧



表彰作品所在

表彰作品

- ① 千葉県立幕張総合高等学校(千葉市)
- ② 印西市中央駅北コミュニティセンター(印西市)
- ③ 千倉・海の住宅(千倉町)
- ④ 西川邸(市原市)
- ⑤ 船橋の家(船橋市)
- ⑥ 森の図書館(流山市)
- ⑦ 佐倉武家屋敷旧但馬家住宅(佐倉市)
- ⑧ 船橋日大前駅(船橋市)
- ⑨ 市原市勤労会館(市原市)

現地調査の対象となった建築物 (表彰建築物を除く)

- 千葉県霞川排水機場・千葉県文書課書庫(千葉市)
- 印西市立原小学校(印西市)
- 幕張ベイトウン・パティオス11番街(千葉市)
- 千葉県庁新館(千葉市)
- ユートピア笠森ゆうゆう館(長南町)
- 特別養護老人ホーム中郷記念館 ケアハウスかがやきの郷(木更津市)
- パティオス9番街(千葉市)
- 精神薄弱者厚生施設・上総喜望の郷(木更津市)
- 島田総合病院看護婦宿舎(銚子市)
- 本田邸(柏市)
- 芝山の家(船橋市)
- 特別養護老人ホーム・ケアハウスいずみ苑(千葉市)
- 千葉市花の美術館(千葉市)

その他の応募(推薦)建築物

千葉公園蓮華亭(千葉市)
 和田浦ステーション・ギャラリー(和田町)
 ホンダベルノ市川八千代店(八千代市)
 サニーライフ君津(君津市)
 千葉市立打瀬中学校(千葉市)
 千葉県立関宿城博物館(関宿町)
 金子邸(我孫子市)
 センシティブルデング(千葉市)
 浦安市運動公園総合体育館(浦安市)
 千葉県内浦山県民の森総合センター(天津小湊町)
 笠川(八千代市)
 千葉県企業庁幸町職員寮(千葉市)
 サフィールフォーレ65(流山市)
 パルテール江戸川台(流山市)
 佐倉市・四街道市・酒々井町
 葬祭組合「さくら斎場」(佐倉市)
 八千代市文化伝承館(八千代市)
 中峠台竣工記念館(我孫子市)
 ウイングホール柏斎場(柏市)

松戸市21世紀の森と広場自然観察舎(松戸市)
 ウッドパーク四季の丘 成田・禰崎(神崎町)
 ちびっ子学童クラブ(流山市)
 学校法人 船橋学園 東葉高等学校(船橋市)
 京成建設(株)本社ビル(船橋市)
 谷津コミュニティセンター(習志野市)
 ホテルスプリングス幕張アネックス(千葉市)
 エステ・スクエア北柏(我孫子市)
 住友大阪セメント津田沼住宅(習志野市)
 大原山七福天本堂(大原町)
 千葉市立新宿中学校プール棟(千葉市)
 特別養護老人ホーム都苑(千葉市)
 源 貫 邸(千葉市)
 一茶双樹記念館(流山市)
 市原市立牧園小学校(市原市)
 船橋信用金庫本店(船橋市)
 ケヤハウス若葉園(千葉市)
 三井海上千葉ニュータウン本社ビル(印西市)
 遠藤幸夫邸(八千代市)

なかむら医院(千葉市)
 稲毛の家(千葉市)
 千葉県国際総合水泳場(習志野市)
 きみつふるさと物産館(君津市)
 君津市森林活用センター(君津市)
 東金市立福岡小学校(東金市)
 千葉市新浜サイクルセンター(千葉市)
 千葉市立土気南中学校(千葉市)
 成田市営住宅北園護台団地(成田市)
 成田市立玉造保育園(成田市)
 岩沢クリニック(成田市)
 学校法人市川学園一宮学舎(一宮町)
 大原幽学記念館(干潟町)
 茂原市庁舎(茂原市)
 京成本線公津の杜駅ビル(成田市)
 野田市営住宅鶴巻団地2号棟(野田市)
 野田市心身障害者福祉作業所(野田市)
 千葉ニュータウン
 アバンドーネ原4・5番街(印西市)



デザイン：株式会社GKプランニングアンドデザイン
制作：株式会社菊地保寿堂

選考基準

- 千葉県内において、平成3年4月1日から平成8年3月31日までに完成（増築、改築、リフォームを含む）し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物で、この表彰の趣旨に適合しているもの。
- 優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
 - ①地域の特性や周辺の環境に十分な配慮がなされ、建築物と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
 - ②安全性、快適性、利便性に優れ、高齢者や障害者等がいきいきと豊かな生活が送れるように十分な配慮がなされ、社会活動への参加が容易にできるような環境整備がなされているもの。
- 建築基準法等の各法令に適合しており、近隣との紛争が生じていないもの。

選考委員

委員長	守屋 秀夫	：昭和专业大学教授・千葉大学名誉教授	委員	周 郷 紀 男	：(社)千葉県建築士会会長
副委員長	北 原 理 雄	：千葉大学工学部教授	委員	園田真理子	：(財)日本建築センター主任研究員
委員	青 山 靖	：(社)千葉県建築士事務所協会会長	委員	辻 宜 志	：(社)千葉県建設業協会専務理事
委員	明 智 克 夫	：千葉県建築設計監理協会会長	委員	野 口 瑠 璃	：(株)GKプランニングアンドデザイン取締役社長
委員	海老根 寧	：(福)千葉県身体障害者福祉協会理事長	委員	山 田 昇	：読売新聞社写真部部長待遇
委員	川 上 昌 子	：淑徳大学社会学部教授	委員	渡 邊 保	：(福)千葉県社会福祉協議会常務理事
委員	工 藤 和 美	：(株)シーラカンズ代表取締役	委員	石 橋 暎 壽	：千葉県社会部長
委員	島 貫 俊 秀	：日本建築家協会・千葉代表	委員	伊 藤 貞 雄	：千葉県都市部長

※ 敬称略・委員は五十音順

共催・後援・協賛団体一覧

共催 (社)千葉県建築士会

後援 建設省
(社)千葉県建設業協会
(社)千葉県建築士事務所協会

日本建築家協会・千葉
千葉県建築設計監理協会
(福)千葉県社会福祉協議会

(福)千葉県身体障害者福祉協会

協賛 千葉県住宅供給公社
(財)千葉県都市公社
千葉県土地開発公社
(財)千葉県都市整備協会
(財)千葉県地域整備協会

住宅・都市整備公団
京葉ガス(株)
千葉ガス(株)
大多喜ガス(株)
千葉県昇降機等検査協議会

第3回千葉県建築文化賞にご応募いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

応募総数83件の中から5点を建築文化賞、4点を建築文化奨励賞として表彰させていただきましたが、この他にも優れた建築物は数多くありました。建築文化賞はこれからも続けてまいりますので次回への御応募を期待しております。

最後に千葉県建築文化賞に後援・協賛をいただきました団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ先

千葉県都市部建築指導課
〒260-91 千葉市中央区市場町1-1
TEL.043-223-3186

(社)千葉県建築士会
〒260 千葉市中央区長洲2-12-25
TEL.043-222-0109

千葉県